

Living Water

Kwassui Gakuin

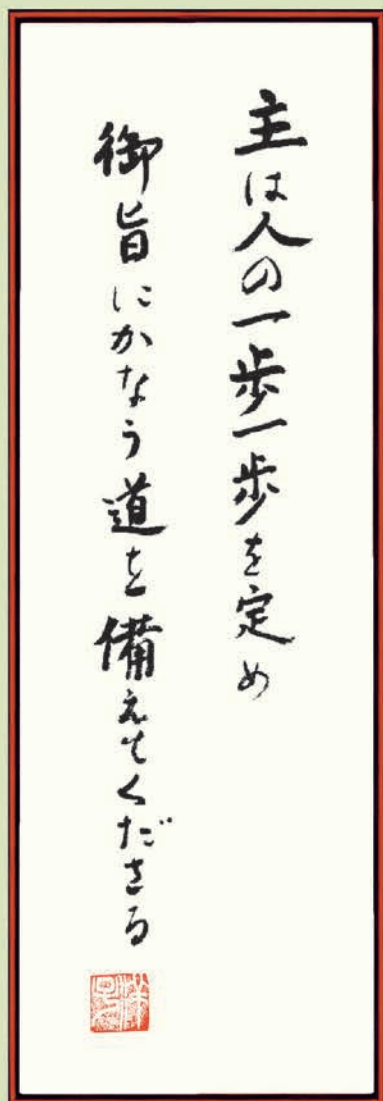


活水は
新たなステージへ。

97

数字の秘密は2ページへ

聖書のことば



2023年度 学院聖句

詩編 37編23節

私たちの歩みは決断と選択の連続だと言えると思います。例えばこれまで続けてやってきたことを止めないといけないときに、それが私たちを意味のある出会いの場へと導くことを願っています。でも、私たちの決断は不安定なものでありましょう。

しかし、「主は人の一歩一歩を定め、御旨にかなう道を備えてくださる」(詩編 37:23)は、不安の中の決断に対して新たな視点を与えます。それは大切な岐路に立たされたとき、私たちが下すすべての決断が神の招きであるということです。神が決断の中にもともにおられることです。ならば、苦渋の決断は神からの恵みであり、むしろ喜ぶべきでありましょう。ゆえに、私たちは生きた希望に支えられ堂々と選んだ道を歩むことができ、必ず確かで正しい方向に導かれるはずで

目次

- 2 聖書のことば
- 3 KWASSUI History 3
活水中高1号館物語
旧鎮西学院の被爆遺構
- 4 新学長、新校長に聞く
新たな活水を創りあげてゆく
- 6 特別企画
長崎原爆資料館前館長
篠崎 桂子さん
- 8 先輩たちの今 Close up ③
01 ベストセラー作家 兼 YouTuber
多良美智子さん
- 9 02 デザイナー
山下恵梨子さん
- 10 03 日本航空株式会社 専務執行役員
鳥取三津子さん
- 13 活水学院強化事業
文化・スポーツ振興プロジェクト
- 14 活水高校コース編成
活水の変わるが始まる！
- 16 「当たり前」に変わらないもの
神様を見上げる学校 神様を見上げる仲間
- 17 大学授業最前線③
食べることは生きること
- 18 Alumnae (アラムニー)
就職活動体験記
- 20 My memory

表紙

活水学院のシンボル、本館である。

赤い屋根に小さな窓（ドーマーウィンドウ）が並ぶ特徴的な外観、壁面にはクワトロフォイルと呼ばれる四つ葉のレリーフがあしらわれている。

設計はヴォーリス建築事務所から独立し活動していた米国人技師 J.H. ヴォーゲルによるもので1926年に竣工。

97年の歳月を刻む、大正時代末の名建築である。



活水学院報題字：藤原 朱石



活水中高1号館物語

——旧鎮西学院の被爆遺構——

緑の芝生広場

現在、宝栄町の中高校舎を訪れた人は、敷地の奥に緑の芝生広場を目にすることが出来ます。

実は、この芝生広場の輪郭は、2011年に取り壊された1号館校舎の敷地をそのまま縁取っているのです。その名残として、芝生の奥には旧校舎遺壁の一部が保存され、「1号館」の名称も永久欠番として残されています。

原爆の惨禍から

1号館は1929年に旧鎮西学院中学の校舎として完成し、翌春、同校はこの地に移転しました。戦時中、軍需工場として使用されていたチャペル部分は、原爆によって破壊され、校舎全体で百名以上が犠牲となりました。

芝生広場の遺構と
モニュメント



チャペル部分が押しつぶされた1号館



再建途中の1号館

その多くは学徒報国隊として動員された学生たちでした。そして、戦後間もない1951年、この校舎を修復し、移転してきたのが、活水学院の中学と高校でした。

よみがえる戦争の記憶

校舎はその後60年間、生徒たちを見守り続けましたが、耐震性の弱さを理由にその役割を終えることとなりました。

その解体作業中に、地下から意外なものが出現しました。

地下防空壕です。

実は1930年に旧鎮西学院中学が移転してくる以前、ここには日本軍の施設があったのです。防空壕はその附属施設として秘密裏に作られたものと考えられています。

決して忘れない

現在、防空壕は安全のため埋め戻され、見えなくなっていますが、私たちは目から消えるものを心からも消してはなりません。



1号館撤去中に出現した地下防空壕

新入学生の皆さん、 ご入学おめでとうございます！

キャンパスは多様性の理解と経験を通して人間性を磨く場



令和5年度 活水女子大学入学式

—学長、校長就任おめでとうございます。いまのお気持ちを聞かせください。また学生・生徒へのメッセージをいただけますか。

広瀬 伝統ある活水女子大学第10代学長として重責を担うことに緊張感を覚えています。本学で学ぶ学生には、あとで振り返ったときにあり良かったと思える学生生活を送ってほしい。いまこの時には分からないかもしれませんが、一生懸命

なにかに取り組むこと、これは勉学に限られません。さまざまなチャレンジをしてほしい。うまくいかないこともあるでしょうが、挑戦する思いをもって行動に移してほしい。これまでコロナ禍でできなかったこともあると思いますし、不満やフラストレーションもあるでしょう。そのようななかでも、諦めずになにかに挑戦した人もいます。ぜひそれを継続してほしい。またできなかった人にはこれから行動で示してほしい。キャンパスは多様性に満ちた経験を実感できる場、行動を誘発する場なのです。

安部 まず中高新入生には、自分たちは「生かされている」という自覚と感謝をもってほしいと思います。併せて「わが身の幸せを考える」こと、そして同時に「世のため人のためになにができるかを考える」という態度を身につけてほしいです。また、将来の進路を実現するための基礎学力を身につけること、多様な経験を通じて人間性を磨くこ

と、他人に対して慈しみと優しさをもつことが重要です。それらを実現できる心の強さをもつことができるよう教職員一同サポートしていきます。生徒の思いを支えるのが私たちの仕事。進路・夢を実現できるように全力で取り組みます。

人生で巡り合った恩師たち

—これまで巡り合った先生方で特に印象的な方はおられましたか。

広瀬 これを話す、それ本当ですかって驚かれるのですが、実はそういう先生ばかりでした。最近まで小学一年生の担任の先生とは年始の挨拶を続けていたくらいです。90歳を超え高齢者施設に入られていますが、これまでもずいっと交流は続いていました。大学時代は、キャンパス内に教員住宅があり、教授の家に遊びによく通いました。ある先生のところは夕食があったりとか、また、別の先生の奥様の焼くケーキは絶品とか情報が飛びかっていますし

新たな活水を 創りあげてゆく



学されたのでしょうか。

広瀬 フィリピンにあるプロテストント系の大学に行きました。そこでは見るもの聞くものの毎日がびっくり返るくらいの経験の連続。大学のキャンパスの外に、ストリートチルドレンたちがいるのが見えました。授業が終わって出ていくと、靴磨きや花売りなどをやる少年少女がわーっと集まってくるのです。ある日教授から言われたことをいまも鮮明に記憶しています。「あの子たちに責任を持つことが君たちの使命だ。彼ら彼女らをあのままにしておくことは本人のためだけではなく、社会のためにならな

い。私は寮生活を送っていたものですから、「食事目当て」と悟られないように、実は相談がありまして……と遊びに行ったものです（笑）。そんななかで、留学先を相談した先生から、欧米ではなく新興国に行くべきという示唆をいただいたりしました。その時々のお会いが自分の人生の進路を照らしてくれたのです。

安部 私も中一と高一、三

に巡り合った恩師のおかげで数学の教師を目指しました。今思えば、あの時あの恩師に巡り合っていなければ、今の自分はいないかもしれません。

—広瀬学長はどちらに留

活水ならではの独自性、公立校にない魅力とは

—活水の独自性をどのよう

安部 日本で暮らしているとかなかなか出会えない言葉ですね。学生生徒にもそういうことを気付いてもらいうような教育の実践が必要です。自然に気づけるものではないので気づきを仕組んでいく、覚醒させていくことが重要でしょう。

安部 活水には多くの魅力があります。一つには英語教育をさらに伸ばすこと。これは長崎・九州のどの学校よりも定評があります。また、中高大一貫教育だからこそ受験勉強にとらわれない自由な学びができること。これは本当に公立高校にはない素晴らしいことです。

広瀬 自由な学びということ、で、大学生に求められる論理的なものの考え方を中高生の時点で学べることは大変魅力があります。中高



令和5年度 活水高等学校入学式

大の連続性を生かして、より関係を密にしていこう。また大学教員による頭出しといますか、一歩先んじて大学の専門教育を提供していきたいと思っています。正解のないことに挑むのが大学教育ですので、「自分は何を知りたいか」「考えたのか」といったことを高校生の段階で思考できることは大きいことです。

安部 問題意識をもった生徒を送りだしていく、そこそそが高大連携の意義ですね。大学の先生方にも協力してもらいたい好奇心という種まきをしていこうと思います。

活水中学校・高等学校

安部 成年 校長

Naritoshi Abe

活水中高第15代校長、長崎県出身。長崎県立大村養護学校を皮切りに県内各地で奉職。長崎県教育庁、長崎県教育センター副所長を歴任。県立長崎南高校校長を経て着任。専門教科は数学。63歳。

活水女子大学

広瀬 訓 学長

Satoshi Hirose

活水女子大学第10代学長、福島県出身。国連開発計画（UNDP）マニラ事務所勤務、外務省ジュネーブ軍縮代表部勤務などを経て、2012年より長崎大学核兵器廃絶研究センター教授を歴任。専門は国際法、軍縮論。61歳。

オフの時間はなにを？

コミックを紹介してもいいでしょうか。坂口尚（ひさし）の『石の花』。コミックの世界で世界的権威があるフランスのアングレーン国際漫画祭で、今年1月「遺産賞」に選ばれた作品。後世に残したい作品に贈られる映える賞です。趣味は、収集癖がありまして、骨董品とかではなくてむしろ無価値なものを集めること（笑）。例えば、チョココレートのパッケージラベルなど。もうスクラップブックに20冊くらいになります。

オフの時間はなにを？

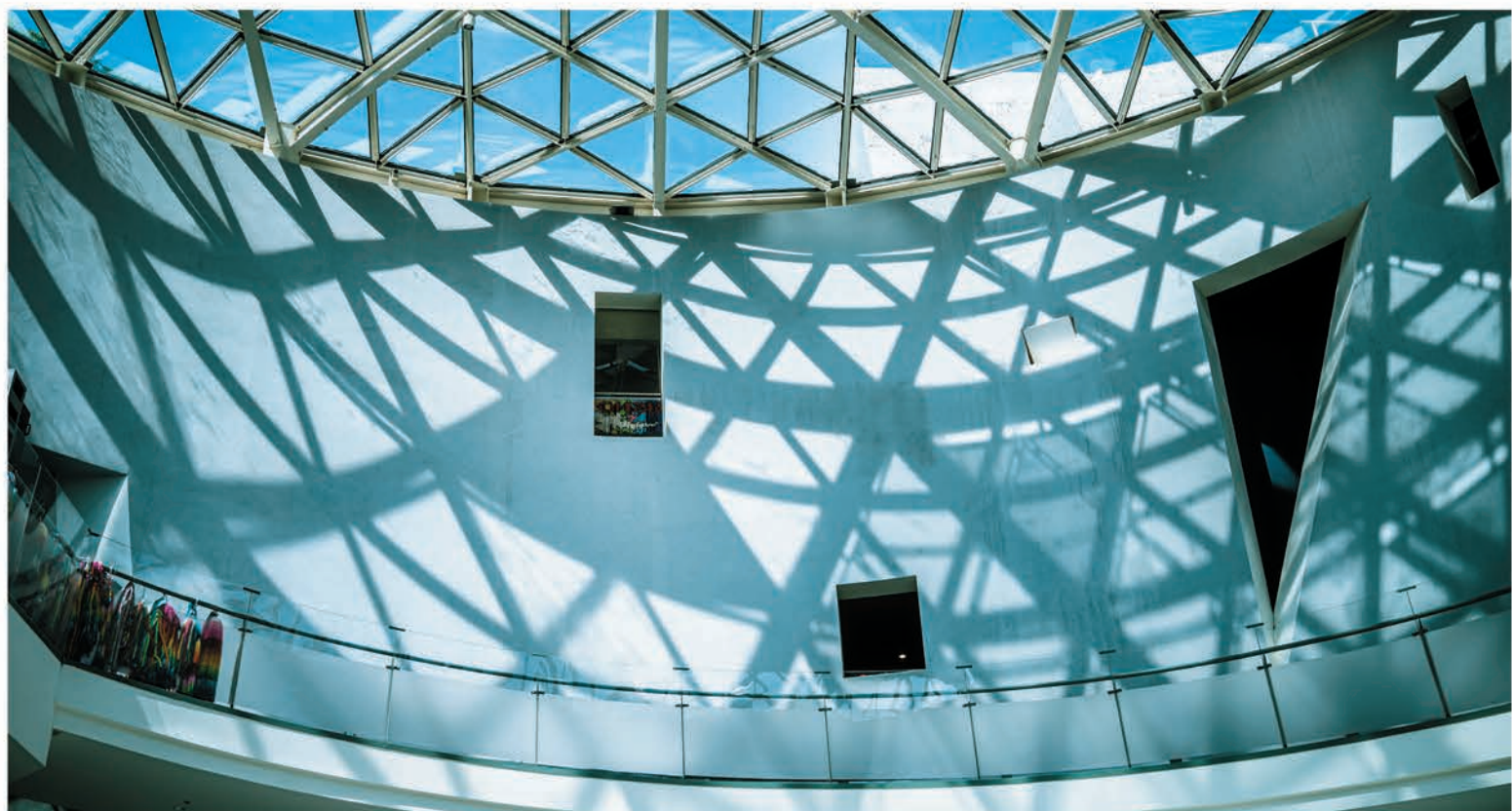
時代小説が好きで、司馬遼太郎や藤沢周平、宮城谷昌光などをよく読みます。どれか一冊と言われますと、高校時代に読んだ司馬の『竜馬がゆく』。ほかには、とあることをきっかけで、北方謙三の『君に訣別の時を』を手に取り、北方シリーズを読破しました。なにがきっかけだったか？ それは内緒です（笑）。趣味は音楽とツーリング。サザンや中島みゆきは同時代を歩んできた同士。最近では、あいみょんや竹原ピストルも聴きます。

一人ひとりの行動が社会を変える

核兵器の廃絶に向けて平和の大切さ、命の尊さを伝えてきた長崎原爆資料館。今春、その館長として惜しまれながら退任した篠崎桂子さんに、「ここに至るまでの歩みと意思を振り返っていただきました。」



のざき 篠崎 桂子 さん
1988年短大日本文学科卒。同年、長崎市役所入庁。子育て支援課、都市経営室などを経て、2018年4月に原爆被爆対策部援護課長。2020年より長崎原爆資料館館長。2023年3月退任。



寄り添うという生き方

原爆資料館館長に至るまで

——原爆資料館館長としてどのような思いで職務に当たられましたか？

コロナ禍に見舞われた直後に就任しました。最初の仕事は資料館の閉館でした。この時、資料館の入り口に「環境問題も核兵器の問題も、すべてが自分事であって、一人一人の行動が最終的には世界を変える」という趣旨のメッセージを掲示しました。核兵器の問題が遠いところにあるのではなく、一人一人が自分事と考えられるように、というのが就任してから考えてきたことでした。特に若い人たちに「平和の文化」を身近なところから感じていただくことを意識してきました。

——原爆資料館館長の仕事とご自身のキャリアとの関係は？

先で多様な出会いと社会経験を増やしていき、そこでつながった職員と一緒に自主学習会を持ったりました。

社会は変わる、変えられる

女性として職業人として

——平和の問題も含めて若い人々へのメッセージを

平和問題に関わる若者を特別な存在にしたいと思っています。みんなの意識の底上げが大事になりますが、たとえば、Vフォーレンの平和活動といったことも、そのいろんな入り口の一つです。平和の問題に関心を持つことが、浮いているというイメージではなく、かっこいいことと思われようになることが大事だと思います。

社会は少しずつ変わっていきます。自分の就職当時、女性は結婚退職が当たり



市役所では、主に福祉畑を歩んできました。子育て支援課に配属されたときにはちょうど子育て中で、まさに「自分事」として仕事にあたることができました。介護保険導入の際には高齢者すこやか保健課に配属されました。激務でしたが、市民に寄り添うという仕事は、やりがいのあるものでした。

そういう仕事を経て原爆被爆対策部援護課長に任命されました。この仕事もまた、福祉の一環で、被爆者に寄り添う仕事でした。

ここでは、被爆者手当の予算編成という形で被爆者数を把握していたのですが、毎月その数が確実に減っていました。そのことに危機感を抱き、被爆体験を話してくれる人を掘り起こすため、被爆者宛の文書に体験記の募集チラシを同封したところ、百名近くからこれに応じる旨の返答がありました。

まえてした。しかし、周囲の意識は少しずつ変わってきて、自分が30歳のころには、何も言われなくなりました。また、女性職員がお茶くみ、茶碗洗い、タバコの吸い殻片付けをするのが当たり前でしたが、それもなくなりました。

子育てに関しては、女性に負担がかかりがちです。たとえば、学校のPTAや個人面談には、ほとんど女性が行きますが、うちは夫も行っていました。そのうち、周囲にもそういう家庭が出てきました。

そのようにして社会は変えることもできます。変えていくときに経験値とネットワークをどう活かしていくかが大事だと思います。



篠崎さんは原爆資料館館長に就任された際、メディアが「初の女性館長」と報じたことに不本意な思いを抱かれたそうです。たしかに、女性が、責任ある地位につくことを特別視されたり、何かにつけて不利な立場に置かれたりする社会は変えていく必要があるでしょう。

そのような中で篠崎さんは、寄り添うこと、つながること、行動することで、自分の周りから変えることを実現しました。それは、女性が、社会をよりよい平和なものに変えていくという時代を予感させます。

経験値とネットワーク

活水で得たもの

——篠崎さんの考え方や行動には活水の教育理念や校風に通じるものを感じるのですが？

活水での学びは、学問だけの学びではなく、活水という環境の中で、友人を始めとした多様な人々との交流から得た経験値を増やすという学びです。

また、そのネットワークは今でも続いていて、同級生とはラインでつながっています。たとえば、「平和の文化」の事業化の一つとして福山雅治さんに関係した「クスノキプロジェクト」があるので、これが、周りの友だちに広がっていく、そしてその子どもたちにも広がっていくといったことがあります。

庁内においてもいろんな職場に広がりを持ったネットワークがあります。配属

ミュージカル「レ・ミゼラブル」の劇中歌を、音楽学部の学生が独唱したYouTubeです。いまこのような時代だからこそ、自由で平等で平和な社会の実現を目指していきたい、そして未来へバトンタッチしていきたい。その象徴として「民衆の歌」をぜひお聴きください。





Photograph by Wakana Baba

多良美智子 01 さん

長崎県出身。1953年
活水高校卒。ベストセ
ラー作家、現在動画配
信等で活躍中。



今年3月に新刊発表
『88歳ひとり暮らしの
元気をつくる台所』
(すばる舎刊)



88歳 YouTuber、活き活きと瑞々しく

持たざる美学 日常を発信する喜び

多良美智子さん（以下、美智子）。米寿を迎えた今その生活は実にエネルギーッシュ。編集委員が訪問したのは真冬日の2月初め。遠来の客をもてなすように、柔らかなほほえみと香しいハーブティーで出迎えてくれた。活水の一番の思い出を聞くと、堰を切ったように話しはじめてくれた。



中学一年、数学教師が、授業から脱線して漱石文学の味わい深さを語り始める。「漱石作品をどれくらい知っているかな」と教師が問う。

生徒らは口々に『坊ちゃん』、『吾輩は猫である』、『こころ』をあげてゆく。少し考えてから『三四郎』、『草枕』があがる。

教師が「それから……」と問うと、美智子が毅然と『それから』と答え、教室内は割れんばかりの拍手と笑い声がはじけた。

焦土と化した長崎に復興の槌音が聞こえはじめていた昭和22年春。

美智子が通学する東山手の丘には、敗戦から立ち上がる少女たちの可憐な笑顔があふれていた。

井上光子先生、永島正男先生、玉木治子先生……恩師の名前が次々にあがるなど、美智子の話は尽きない。

美智子の人格形成に大きな影響を及ぼした毎日の礼拝と讃美歌に囲まれた活水の日々。「与えなさい、そうすれば、自分も与えられます」

聖句の数々にどれだけ感情を解放することができたであろうか。

長崎で過ごした多感な少女時代、大阪の貿易商社で英文タイピストとして独身生活を謳歌した青春時代、神奈川で子育てに格闘した日々。そして今、湘南の地で、美智子はユーチューバーとして活躍している。

いずれの時代も心には聖書の言葉があった。今というアンガーマネジメントの実践、恩恵に感謝できることは、活水の愛と祈りの学びが土台にある。



読書とパナマのモラ刺繍を趣味とし、子や孫との会話を楽しみ、日ごろの散歩を欠かさない美智子に孫のあーすが仕掛けたユーチューブが爆発的にヒット。美智子の生活を集めたTV番組の特集などがあつとをたたない。今年3月には2冊目の本も発売。

美智子の生活に独居高齢者というネガティブなイメージは一切ない。あるのは、物質的なモノに囲まれない持たざる美学、日常を発信する喜び、ユーチューブや著作を通して世の中を少し明るくすることの幸せ。そういった豊かな生き方がここにある。



02 山下恵梨子さん



2008 年度全国高等学校総合文化祭群馬大会写真部門優秀賞受賞「あの日 あの時」

Photograph by Eriko Yamashita

部活動で培った将来への布石

高校時代、写真部と美術部、図書委員として活動していました。写真部では白黒銀塩写真を学びました。暗室での現像作業は楽しく、作品が浮かび上がる感動は何物にも代えがたいです。写真部に所属していたおかげで感性や構図センスが磨かれたと思います。初めて出場した全国高等学校総合文化祭群馬大会では写真部門で優秀賞を受賞することができました。石村先生のご指導と自分のやってきたことが実を結んだ瞬間でした。本当に嬉しかったです。

美術部では文化祭、体育祭の看板制作や、個人活動でポスター公募に応募し毎年さまざまな賞をいただきました。図書委員でも広報誌コンクールで最優秀賞を受賞しました。生徒を重んじる活水高校だったからこそ、興味あることへ次々とチャレンジすることができました。また目標に向かってひたむきに努力する姿勢が「新たな挑戦への機会」を呼び込む、良い連鎖が生まれていたと思います。



長崎県出身。2010年活水高校卒業。大阪芸術大学芸術学部デザイン学科卒業後、現在は㈱クラックスにて商品デザインやキャラクター制作に従事。

自分のデザインが愛される喜び

私は絵に携わる仕事をする夢を叶えるために大学に進学し、専門分野を究め、教員免許を取得しました。忙しい毎日でしたが、大阪芸術大学を首席で卒業することができました。現在はデザイナーとして雑貨や文具のデザインをしています。自分の描いたデザインが商品となり全国、世界中で愛されていることは非常にやりがいを感じます。仕事は大変なこともありますが、活水高校での経験は私に勇気をくれます。興味あること、やりたいことにチャレンジしそれを達成させるという体験と努力の積み重ねが現在の自分に繋がっていると思います。

現役活水生にアドバイスをお願いします

後輩の皆様には、固定観念にとらわれず、やりたいことを見つけて欲しいと思います。それは、後にすべて自分の力になるからです。



山下さんがイラストを描いたクリアファイル

活水3人娘、日本の翼を支えて

内に秘めた常に挑戦する思い

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、採用停止や期限付き出向などさまざまな経費削減が行われてきた日本航空。ようやく旅行需要が回復しつつあるなか、カスタマーエクスペリエンス本部長の鳥取三津子専務執行役員に話を聞いた。

日本航空株式会社 専務執行役員

鳥取三津子さん

福岡県出身。1985年短大英文科卒業。客室乗務員を経て、2020年執行役員客室本部長、2023年より専務執行役員カスタマーエクスペリエンス本部長



月をこえて今も記憶が鮮明です。

活水時代は勉強漬けの日々

早く社会に出たいという思いを高校生時代からもっており、2年間は短大に進学しました。2年間はあっという間ですので、つかめるものはすべてつかみたいという思いで長崎にまいりました。いまから振り返ってみても、本当に勉強漬けの毎日、東山手の下宿先に戻っても予習復習をしていたそんな学生時代でした。もう少し遊んでいても良かったかなと、今になりますとそんなふうに思えます。また英語担当のエリザベス・テナント先生も印象に残っています。就職後、乗務している機内でお会いしたこともあり、また、キリスト教を担当されておられた井上大衛先生とは、お盆休みに福岡の友人たちと東京デイズニールランドで羽を伸ばしているとき、「魅惑のチキルーム」の行列で偶然お見かけしました。「先生覚えてくださっていますか」と伺ったところ、「もちろん！」と即答してくださいましたこと、歳

行きたい会社への就職、それとも憧れのCA？

客室乗務員（CA）になればいいなという漠然とした憧れはありましたが、最初から目指していたわけではありません。当時は志望していた会社が別がありました。ところが、卒業年度にその会社の採用募集がないことが分かり、突然、どうしたかといふと、会社に履歴書をもつて突撃、採用面接を特別にしてもらったことになりました。持ち前の行動力と突破力を発揮して内定をゲット。その後、CAの採用も決まりました。最後の自分にとってより困難だと思われるCAの道を選択しました。内定を辞退した会社には、押しかけおいてお断りしてしまうことになり、本当に申し訳ないことをしてしまいました。ただ社会人の先輩としてご助言をいただき快く送り出していただくことができました。「華や

かな仕事のようにみえますが大変と聞いていますよ」と親身になってアドバイスいただきましたことを今も思い出します。



CA時代の鳥取さん

コロナ禍で役立つ未来志向

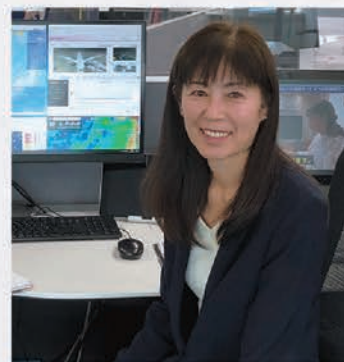
常に進路を見失わないこと。並大抵のことではないですが、それでも「コロナ禍でも、できることはないか」自問自答を繰り返すようにしてきました。「過去ではなく、現在そして未来を見据えて常に明るく前向きに」を心がけてきました。もちろん反省すべきことは反省しますが、常に未来志向でいたいと思っています。コロナ禍だからこそ「挑戦する気持ち」を持ち続けることが重要と自分に言い聞かせてきました。

「JALフィロソフィ」との出会い、そして考え方の指針

日本航空には「JALフィロソフィ」という全社員が持つべき意識・価値観・考え方の指針があります。先にご紹介した「常に明るく前向きに」もその一つです。またすべての考え方の基底には「感謝の気持ちをもつ」があります。私にとって足りないと感じるところは、その都度「JALフィロソフィ」に立ち返り、必要な考え方を吸収しています。

またなかなか実行は難しいのですが、「対極をあわせもつ」こともとても重要です。大胆さと細心さをあわせ持つことで初めて完全な仕事ができるようになります。感謝の気持ちや美しい心という細心さを持ちつつ、率先垂範し全身全霊で仕事に打ち込む覚悟で大胆に取り組むことが重要です。これらの対極をあわせもつことを常に心がけています。

人の考え方はさまざまですが、会社では全社員のベクトルを合わせていかなければなりません。「JAL」フィ



それぞれの立場で活躍する
JALの活水3人娘。
順番に鳥取三津子さん
宮坂久美子さん
香取美映子さん

ロソフイには、明確な答えが書かれて
いるわけではありませんが、普通の
の真理や方向性が示されています。
「人間として何が正しいか」という
判断基準がそこにあります。何かを
決めるとき、また、判断に迷ったと
きに、「JALフィロソフイに立ち戻
れば、そこで答え合わせができるよ
うになります。」JALフィロソフイ
は私が大切にしている信条の束です。

活水の3人娘

西日本支社長の宮坂久美子、社長
直下組織として現場オペレーション
の総責任を担うミッシェン・デイレク
ターの香取美映子、そして私の3人
が活水の同期生です。

いまでもファーストネームで呼び
合う仲良し3人組。それぞれの持ち
場立場で重責を担っています。私た
ちは、定年後も働いていたいとい
う共通の思いを持っています。また、

後輩である女性たちには、出産や育
児後も仕事に復帰してほしい、経済
的に自立できて長く続けられる仕事
を得てほしいと心から願っています。

オフタイムの過ごし方

仕事は大変なことも多いですが、
やり甲斐をもってやっております。
オフの時間にはクラシックをよく聴
きます。作品にあふれる気迫や情熱
から明日への活力がわいてきます。

CAを目指す現役活水生へ アドバイス

日本航空はESG経営（環境と社
会、ガバナンスを重視した経営）を
目指しています。なかでも地域社会
との共存発展が非常に重要と考えて
います。学生の皆さんにも、地方を
よくしていく、九州・長崎を元気に
したいと考えていてほしいと思いま

す。人流、物流が活発になれば、地
域は活性化していくからです。

CAになりますと、訓練部での学
びや現場での経験によりコミュニ
ケーション力が向上します。そのス
キルを生かし、多くのCAが「JAL
ふるさと応援隊」として地域を盛り
上げる活動に参加しています。CA
になったら地元と縁が切れるのでは
なく、長崎、九州そして日本全国、
海外への架け橋として活動してほ
しいと切に願っています。地域社会と
共生していくというJALの価値創
造プロセスにつながっていくからで
す。

接客が好き、人が好き、飛行機が
好き、どれか一つでもあてはまれば
ぜひCAを目指してほしい。そして
挑戦する気持ちを持ち続けてくだ
さい。あと、ご自身の未来の可能性や
選択肢を広げていくためにも英語を
ぜひ磨いておいてほしいと思います。

JAL フィロソフイ（一部抜粋）

第1部 すばらしい人生を送るために

- 人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力
- 人間として何が正しいかで判断する
- 小善は大悪に似たり、大善は非情に似たり
- 美しい心をもつ
- 自ら燃える
- 能力は必ず進歩する

第2部 すばらしいJALとなるために

- 一人ひとりがJAL
- お客さま視点を貫く
- 渦の中心になれ
- 売上を最大に、経費を最小に
- 最高のバトンタッチ
- 楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する

出所：JAL 企業サイトより一部引用 <https://www.jal.com/ja/philosophy-vision/conduct/>

活水学院強化事業

文化・スポーツ振興プロジェクト

サッカー部・新体操部・吹奏楽部は「活水学院文化・スポーツ振興プロジェクト」として位置付けられ、よりハイレベルな活動を展開しています。
※大学のサッカー部・新体操部・吹奏楽部には文化・スポーツ振興特待生制度があります。

新 体 操 部

礼儀正しく美しく

中高新体操部



創部42年。創部時から「礼儀正しく美しく」がモットー。何事も「できる・やる」を合言葉に仲間同士で声を掛け合い元気に活動。部活動を通して、やると決めたことは諦めず実行する責任感や忍耐力を身につけ、日々人間性を磨いています。中高共に全国大会出場が目標です。

自分らしさを求めて

大学新体操部



プロジェクトに指定されて以降、全日本学生新体操選手権大会へ出場中。練習は学生が主体的に計画し、部員同士で切磋琢磨。自己理解と自律心を養成しています。パフォーマンスだけではないスポーツの価値を追求し、多くの人に応援してもらえる部を目指しています。

サ ッ カ ー 部

高みを目指して

中高サッカー部



2021年創部、7人からのスタートながら翌年にはフットサル県大会で準優勝。今年は部員も18人に増え、楽しくも厳しい練習にまい進。休日には大学生と一緒にトレーニングし、レベルアップ！夢はトランスコスモスタジアムで大学サッカー部と優勝決定戦を戦うことです。

Pioneer spirit

大学サッカー部(国体強化指定クラブ)



チーム理念「Pioneer spirit」の下、2023シーズンには「絶対九州1位」の目標を掲げ、日々活動をしています。4年間の学生生活の中で、①感謝とリスペクト②自分の可能性にチャレンジし続ける③他者との協働を大切に、「応援される人」「自分の人生を切り拓く人」を目指しています。

吹 奏 楽 部

地域に愛される音楽活動を

中高吹奏楽部



プロジェクトに指定され今年で9年目。昨年は全国大会出場を果たし生徒たちは達成感を満喫。西九州新幹線開業にともない長崎駅構内や多くのイベントで演奏。また3年ぶりに開催されたランタンパレードでも声援を受け行進。地域に愛される吹奏楽部を目指します。

感動と思考の自由な表現

大学吹奏楽部



毎年開催している定期演奏会を中心に、吹奏楽コンクール、アンサンブルやカラーガードの各コンテストに出場。依頼演奏や地域吹奏楽部の指導など音楽を通して交流を拡大。部員の個性を大切にしながらコミュニケーション能力を高め、全員で一つの音楽を創り出していく活動を続けています。

■今、なぜ探究か？
 活水の探究活動は、生徒一人ひとりが輝く未来の自分を描くマイプロジェクト。SDGsをはじめとした、様々な社会問題や課題について深く考えます。知識技能の習得、テーマ設定、調査・分析・考察、成果発表、振り返りというサイクルを繰り返すことにより、未来を生きるための主体性や課題設定・解決能力を身につけ、新しい価値創造に挑戦します。大学進学など進路実現にも直結します。

- 2年生では、文理に関係なく共通の科目を学びます。3年生の難関私大文系では、実践的な英語の授業が多く英語を話す機会が設けられています。国公立大学文系理系では大学入学共通テストや一般入試に対応できる学力を身につけることができます。
- 〈求める生徒像〉
- 国際社会や異文化に対する興味・関心を持ち、グローバルな課題の解決に向けて行動しようとする生徒
 - 探究活動、模擬試験や土曜課外に積極的に取り組み、学力向上の努力を惜しまない生徒
 - 難関私立大学や国公立大学進学を目指す生徒
 - 〈目指す進学先〉
 難関私大文系
 国際基督教大学、上智大学、青山学院大学、早稲田大学 など
 国公立大学文系理系
 九州大学、長崎大学、長崎県立大学、国公立大学医歯薬学 など

グローバルな課題を解決する力が身につく「グローバル探究コース」

新たな普通科では、1年次は全員が共通の教科・科目を学びます。1年次の学びを通して自分をしっかりと見つめます。2年次からは希望進路に応じて「グローバル探究コース」と「ミライ探究コース」に分かれ、一人ひとりが充実した高校生活を送ります。



〈探究テーマ例〉

- The Future of the European Union (高2)
- n pop アイドルが若者に及ぼす影響 (高2)
- ラピュタから学ぶ人を思いやる気持ち (高2)
- 音と記憶の相関性 (高2)
- 外国人の学生に平和の動画を配信し、客観的な意見をもらおう (高1)
- 西九州新幹線の利用者増加を目指す長崎オリジナル旅行プラン (高1)

自分のミライを力強く切り拓く力が身につく「ミライ探究コース」

運動部や吹奏楽部など部活動で青春したい生徒にお勧めのコースです。活水独自の科目である将来学や長崎文化学・長崎平和学、そして看護体験や企業訪問など特色ある教育活動が魅力です。

- 〈求める生徒像〉
- 好きな分野や得意な分野をさらに伸ばし、自らの未来を力強く切り開こうとする生徒
 - 授業に集中し基礎学力の向上に努めることに、探究活動に主体的に取り組む生徒
 - 活水女子大学をはじめとする私立大学等を目指す生徒
 - 〈目指す進学先〉
 活水女子大学
 青山学院大学、明治学院大学、フェリス学院大学、神戸学院大学、西南学院大学、福岡大学、九州産業大学 など

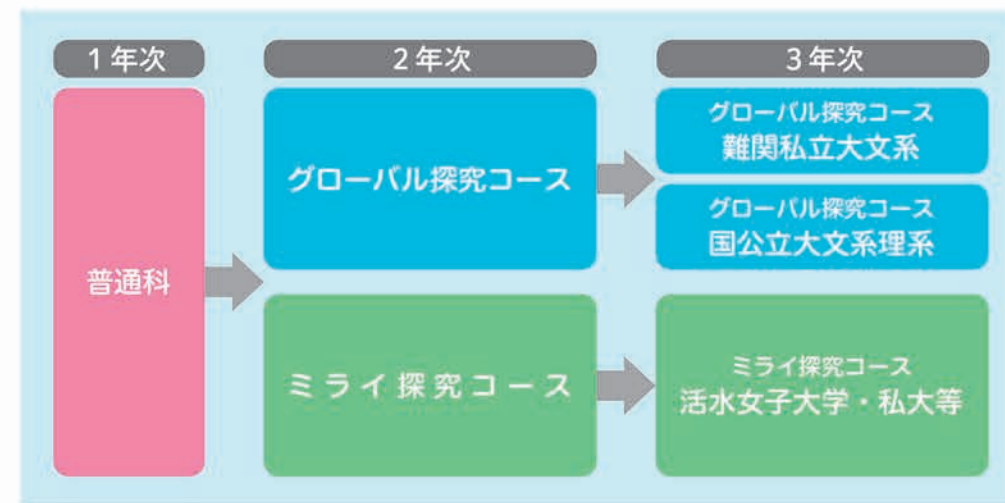
これまで
 英語科 特別進学コース
 普通科 総合進学コース

これから

普通科



活水高等学校
ホームページ



新コースに関するお問い合わせはこちら ⇒ 受験専用アドレス juken@kwassui.ac.jp

Q&A

Q1. どのような生徒を募集しているのですか？

本校が大切にしている言葉である「わたし、輝く。ともに、輝く。」を実践したい皆さんを歓迎します。具体的には左の通りです。

- ① 明るく余裕をもったのびのびと学校生活を楽しめ、個性を輝かせたい生徒
- ② 夢の実現に向かって授業や探究活動に主体的に取り組む生徒
- ③ 自律性を高め、人を思いやり社会に貢献する力を身につけようとする生徒
- ④ 学校行事、部活動、ボランティア活動や地域活動に積極的に取り組む生徒
- ⑤ 各種資格検定（英検・漢検等）に積極的に挑戦するとともに、使える英語を身につけたい生徒

Q2. 入学試験の出願や試験科目はどのように変わるのですか？

これまでは出願の時点で「英語科」「普通科特別進学コース」「普通科総合進学コース」のいずれかを選択していただいておりますが、今回からは出願の時点でコース選択はなく、「普通科」への出願となります。1年生での共通の学びを通して自分自身を知ったうえで、2年生で「グローバル探究コース」「ミライ探究コース」のいずれかに進むことになります。入試科目は、これまでと同じで、国語・英語（リスニングを含む）・数学・面接を実施します。

Q3. 2年生からのコース分けはどのようになりますか？

1年生の時の学業成績なども参考にしますが、

基本的には本人の希望を優先します。1年生では、自分がどのコースに向いているか意識しつつ、高校卒業後の進路も見据えながらしっかりと勉強に励んでください。

Q4. 医歯薬系の大学に進学したいのですが、授業は受験に対応していますか？

グローバル探究コースを選んでください。国公立大学医歯薬系学部を受験科目にも対応しています。1年生では数学・理科・英語の基礎・基本を徹底的に学習します。その後、進路希望に応じて少人数グループに分かれ、数学・理科の受験科目の授業を受けることができます。

Q5. 英語科がなくなるのですか。英語の学びはどうなりますか？

これまで活水が培ってきた英語教育の伝統と実績をベースに、全生徒にそのエッセンスを学んでいただきます。特に、使える英語が身につくよう指導していきます。一人ひとりの実力に応じた英検受験指導も徹底して行います。ネイティブスピーカーとの1対1のオンライン英会話を導入予定です。より深く英語を学びたい人は、「グローバル探究コース」難関私大文系」を選択してください。より専門的な英語の授業を受けることができます。

Q6. 部活動にも力を入れたいのですが可能ですか？

運動部や吹奏楽部で熱心に活動したい人には、「ミライ探究コース」をお勧めします。「グローバル探究コース」でも活動できますが、7校時までの授業や土曜課外が実施されますので、活動に制約が出ることが予想されます。学習と部活動との両立に取り組みながら国公立大学や難関私立大学に進みたい人はぜひ「グローバル探究コース」を選んでください。

「当たり前」に変わらないもの



神様を見上げる学校 神様を見上げる仲間

中高等学校宗教主任

三河悠希子



朝5時に起きてホテルを出発し、5時半からの韓国・釜山草梁教会の早天祈祷会に出席しました。やっと起きた生徒たちは、「この時間の礼拝にこんなに人がいる」と驚いています。ポヨンロ教会の高校生会委員の生徒たちとスケートをしたり、海に遊びに行きました。その時も「この人たちって1つの教会から来てくれたの？」と驚いていました。日本ではキリスト教徒はどうしても少数派、教会にいる中高生は少なくても当然と思ってしまうが、お隣の韓国では、そして世界中を見れば、活水と同じように神様を見上げる仲間がたくさんいるのです。

コロナ禍前の2019年までは、活水高等学校・活水中学校YWCAは教会を訪ね、同年代の教会に集う生徒たちと交流するための韓国研修を行っていました。コロナ禍で3年間実施できませんでした。今年度から再開させようとしています。今までのように、教会の高校生たちと海辺にハイキングに行ったり、一緒に食事をして、一緒に礼拝して、同じ神様を見上げる仲間と楽しい時間を過ごしたいと計画しています。言葉の壁があり、お互いの気持ちを想像し、相手の伝えたいことを考えながらの交流ですが、生徒たちの表情に不安はありません。それは、生徒自身はしっかりと意識していなかったとしても、教会の仲間、同じ神様を見上げる仲間という安心感に基づいているからです。

YWCAの生徒と一緒に、子育て支援センターにボランティアに行ったとき、「活水から来ました」と言うと、利用者の方は「やっ



ぱり活水だからね」とおっしゃいます。この「やっぱり、活水だからね」という言葉には、キリスト教の学校という意味も含まれているのだと思います。生徒自身が洗礼を受けたキリスト者ではなかったとしても、毎朝の礼拝や授業、キリスト教行事を通して、神様の愛を知っていて、その愛を分かち合うことが自然とできる、そんな生徒が育っている証拠でもありますし、活水がキリスト教学校として、今までこの長崎の地で果たしてきた役割でもあるのです。

キリスト教教育と聞けば、「厳粛な雰囲気」の礼拝」など堅苦しいようなイメージを持つ人もいるかもしれませんが、でも、毎日の生活の中で神様を見上げ、神様からの愛を知り、安心して歩む、そして、その愛を周りの人と分かち合う、そんな今まで活水が「当たり前」としてきたことが、これからも続いていく、ただそれだけなのです。



食べることは生きること

味や彩りにこだわった献立作りを学ぶ

食生活健康学科の管理栄養士養成課程では、食品学や栄養学、栄養教育、給食管理などさまざまな科目を学びます。その中でも2年次の「食事設計実習」は、献立の作成方法について学び、最初に管理栄養士業務の一端に触れる授業です。

この授業では、喫食者の必要栄養量に合わせ、嗜好やコスト面、機能性を考慮した献立を作成できるようにすることを目的に、喫食者にとって望ましい食事の提供について考えていきます。学生自身がイメージしやすいように、学生の世代、学生の親世代、学生の祖父母世代を対象とし、それぞれの献立を考えた実際に調理実習を行い、できあがった食事を通して評価を行います。喫食者にとって望ましい食事の提供は、栄養価など数値にばかりとらわれすぎると、おいしく満足のいく献立にはなりません。「もう少し味付けを工夫した方がよかった」、「おいしくできたが、彩りに工夫が必要だと思った」、「調理に時間がかかったので、献立内容や作業工程を見直した方がよい」など、実際に料理を作るからこそ気付くことがたくさんあり、学生自身の学びにつながっています。また、献立作成



の知識だけでなく食材の旬や栄養価など食品学の知識や調理学、栄養学の知識など、これまでに修得した知識を踏まえて献立を作成することで、横断的に学びを深めることができているのではないかと思います。

食べることは生きることであり、日々の食事は単に栄養補給だけが目的ではなく、さまざまな食を通して日常に潤いをもたらしてくれるものです。喫食者に必要な栄養量を満たし、かつ、おいしく満足感の得られる食事を提供することで、喫食者に寄り添い、「食」を通してココロにもカラダにも活ける水（栄養）を注ぐことができる管理栄養士を目指してほしいと願っています。

（授業担当：藤 希望 先生）



実年期の食事



高齢期の食事（七夕行事食）



平たんではなかった就職活動。支えてくれたのは周りの方々と過去の自分の経験値でした

株式会社JALスカイ
国際文化学部英語学科
(活水高等学校)

小川 由姫さん

私は春からは成田国際空港において業務にあたります。これまで温かく見守り、背中を押してくれた両親、たくさん相談に乗ってくださった大学の先生や職員の方に感謝の気持ちでいっぱいです。

思い返せば航空業界に憧れを持ったのは小学6年生の頃。いつしかその憧れが私の目標へと変わり、英語力を磨きたいと活水高校、そして活水女子大学へと進学しました。しかし新型コロナウイルスの影響により航空業界の採用が停止されていたため一時は目標を見失い、自身の将来に関して考えなおすことになりました。

しかしながら幼い頃からの憧れは消えることはありませんでした。そして迎えた就職活動。幸いなことに前年から徐々に採用が開始され、面接に臨み、そして内定の連絡をいただいた瞬間は本当に嬉しく、すぐには信じられないほど驚きました。

就職活動を振り返ってみると決して平たんな道ではなく、たくさん悩み、たくさん苦しみました。自信をなくして涙したこともありましたが、しかし両

親や大学の先生、職員の方の支えが大ききな力に、そしてさまざまな挑戦をしてきたこれまでの私が強い味方となりました。高校時代からボランティア活動等を体験し、自身の引き出しを増やしておいて良かったと実感しました。これから就職活動を迎える皆さん。大変なことや苦しいこともあるかもしれませんが、焦ることなく自分を信じて舵を取ってください。皆さんが素晴らしい学生生活を送り、笑顔で卒業の日を迎えられることを祈っています。

学内外で取り組んだ実践的な活動を通して、自分の進む道を確信できました

長崎県警察本部警察官
国際文化学部日本文化学科
(長崎県立長崎北高等学校)

相良 桃花さん

小学生の頃からの夢であった警察官として地元長崎で働くことになりました。学内外で経験したこと、人との出会いがこの進路を決める大きなきっかけとなりました。

日本文化学科の地域ビジネスコースに在籍していたため、1、2年生ではフィールドワーク等を通して、地域の課題について考えました。3年生では2か月の長期インターンシップに参加し、どのような視点から課題と向き合い、解決していくのか実践的に学びました。受入先の皆さまが熱い思いを持って接してくださり、実際の業務を経験できたことで、働く意義や社会人として必要な考え方も肌で感じる事ができました。また、地域・行政・企業が連携し、長崎をより良い街にするための学生企画プロジェクト「りのみープロジェクト」に参加しました。1年間かけてイベントを企画し、実行するという地域貢献活動を通して、長崎の良さを再確認することができました。

学外では、少年の立ち直り支援、非行防止などの広報活動を行う学生サ



ポーターのボランティア活動に取り組みました。少年への接し方が分からず信頼関係を築くうえで悩んだ日々もありましたが、相手の気持ちを想像すること、熱意を持つて対応することの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。コロナ禍で思うような生活が出来ず、もどかしい思いをしたこともあります。が、活水での学生生活を通して自分自身と向き合い、将来のことを明確に考えることができました。人々の日常を支え、弱い立場におかれる人を守りたい、そんな思いが強くなりました。また、地域について学び、人の温かさに触れたことで、地元のために働きたいと思うようになりました。だからこそ、長年目指してきた警察官として長崎で職務に励んでいくことが自分の進む道だと確信しました。

最後に、後輩の皆さんには、失敗を恐れず何事にも挑戦して欲しいと思います。きっと新しい発見があり、自分の可能性が広がるはずです。そして、長年の夢を応援し支えてくれた両親と祖父母、丁寧な指導をしてくださった大学の先生方、インターンシップやボランティアで関わった皆さまに深く感謝申し上げます。

同じ目標を持つ仲間たちとお互いに励まし合い高め合うことで目標を達成できました

諫早市立琴海中学校教諭
健康生活学部生活デザイン学科
(長崎県立諫早高等学校)

前田 香澄さん

看護師や管理栄養士に魅力や憧れを感じ、どの道に進むか悩んでいた高校生の頃、「子どもの孤食」をテーマにした授業に大きな衝撃を受けました。そして、この課題解決に家庭や地域とともに取り組む大人になりたいという思いが日増しに強くなったため、家庭科教諭の免許が取得できる活水女子大学への入学を決意しました。

しかし2年生になるあたりからコロナ禍の影響を受け、学びや生活スタイルは大きく様変わりしました。期待に胸膨らませ入学したキャンパスライフ。当たり前だったことが当たり前ではな

く、人と人がつながる機会は奪われていきました。そんな学生生活の中で私は、放課後学童保育や学習塾、大浦小学校教育支援ボランティア活動などに主体的に参加しました。子どもたちと関わるたびに、「どう声をかけすればよいか」「教師に向いていないのでは」と日々悩むことが多かったが、私なりに目の前の子どもとしっかり向き合っていたことで少しずつ信頼関係を育むことができました。

3年生からは教員採用試験の対策に



も尽力しました。大変だったことは家庭科の知識が浅薄な状態からの勉強です。初めは、問題の意味が理解できない、洋服も上手に作れない、そのような状況でした。しかしそこで諦めずに継続できたのは、学生生活の中で出会った子どもたちとの楽しい思い出のおかげです。教職仲間とは、問題を出し合ったり実際に調理・被服製作をしてみたりと、工夫しながら勉強に取り組んだことで、きつい状況でありながらも楽しく試験対策ができました。

教員採用試験に合格し、4月からは

教師として子どもたちと関わる立場となりました。一教師として私自身の思いや願いを伝えるだけではなく、子どもや保護者の気持ちをしっかりと聴き寄り添っていく。そうすることで、気持ちの分かれれば、一方通行の指導やアドバイスではなく、生徒自身による課題解決に向けての手助けとなるアドバイスや指導のあり方に自然とたどり着くと信じています。

未熟ですが、子どもと共に学び続ける教師であるために、これからも努力していきます。

悩み抜き貫いた自分の夢。長期的且つ計画的な対策で実現することができました

熊本大学病院管理栄養士
健康生活学部食生活健康学科
(長崎県立長崎商業高等学校)

池田 玲美さん

私は高校生の頃から病院勤務の管理栄養士を志してきました。活水女子大学に入学して過ごした4年間はあつという間でしたが、自分自身が大きく成長することを実感できた年月でした。管理栄養士として働く場所は病院、福祉施設、保育園、給食会社、民間企業と幅が広く選択肢も多いです。私はずっと病院の管理栄養士を目指していましたが、病院の求人が出る時期も遅く、また、求人数が少ないため就職活動が長期戦になることもあった先生方や就職課の方から聞き、国試の勉強と就職活動の両立を上手くできるのか、卒業するまでに内定をもらうことができるのか、たくさん不安が押し寄せてきました。

早く就職活動が終わらせるため、病院勤務を諦めて民間企業への就職も考えましたが、両親と相談し、自分の夢ややりたいことに挑戦する道を決めました。病院の就職試験は専門試験や小論文などが課されることが多く、いつでも就職試験に挑めるように3年生の春休みから臨床栄養を中心に筆記試験の対策を自分なりに行っていました。



履歴書は就職課、先生方、また家族にも何度も見てもらいました。病院の就職活動は秋から冬といわれていますが、私は7月頃から始めていました。早めに取り組んだおかげで10月には就職活動を終え、国試の勉強に集中して取り組むことができました。

県外の病院に試験を受けに行くことが多く、送り迎えをしてくれた両親、

応援してくれた友人がおり、決して一人では頑張りきれなかったと思います。たくさんの人に支えられて今の私がいまです。これから就職活動が始まる皆さんは将来に対する不安が大きく毎日が辛い日々になることもあると思いますが、息抜きをしながら、ゆっくり自分と向き合ってください。一人で抱え込まず、小さな不安でも誰かに話すと楽になります。皆さんが笑顔で卒業できるように願っています。応援しています。

大正生まれの母は私が音楽大学の進路を迷っていた時に、活水への進学を勧めてくれました。多分、母が憧れた学校だったのでしょう。初めて親元を離れ寮生活でした。最初の頃はホームシックで、寮から眺める港の夜景に涙したものでした。しかし、とても素敵で大人に見えた先輩たちに憧れ、毎日練習に励み、思い出多い充実した3年間でした。卒業の年に学院は創立90周年を迎え記念コンサートが開かれました。合唱曲には

ヴェルディ作曲「アイダー」が選曲され、合唱は活水で初めてと思われませんが混声合唱です。夕食を終えて夜、学内で男性も参加して週に一度の練習でした。この時の男声合唱は現在も活躍中の通称「アカ団」の礎になりました。私はオペラの中の二重唱を演奏することになりました。会場は約二千人収容の長崎市公会堂、指揮は田村省平先生、伴奏は中野章三郎・大塚和子先生による2台のピアノでした。合唱を背にして、大きな



1982 (昭和 57) 年 11 月 21 日 長崎市公会堂
「蝶々夫人」上演時



私の人生の分岐点
「活水学院創立90周年
記念コンサート」



永吉 美恵子
活水女子大学名誉教授
活水同窓会会長



柴田喜代子先生 (右から2人目)

会場に響きわたる声!! これまでに感じたことのない醍醐味と感動でした。この経験は私にとって人生の岐路となりました。もう少し高く登ってみると違う景色が見えるかも知れない...と。東京から声楽のレッスンに見えていた柴田喜代子先生の後押しもあり、東京藝術大学への門をノックしてみました。すると扉が開いたのです。高校を卒業する時には予想もしなかった人生です。

活水と出合い、活水に育てて頂いた人生。多くの学生と出会えたことも宝物です。一本の道を歩き続けられた人生を想い返しています。

活水学院創立 150 周年記念募金「未来への架橋プロジェクト」

活水学院は1879年の建学以来、「キリストの知恵と生命 (いのち)」を見えざる土台として建学の精神を掲げ、自立した女性を育てるという教育使命を担ってまいりました。これまでの歩みはひとえに皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

2029年、活水学院は創立150周年を迎えます。「未来への架橋プロジェクト」では、国際交流を活性化するための奨励費新設、地域社会に根ざした知的インフラ構築の拠点としての東山手十二番校舎 (旧宣教師館) 整備事業など新たな飛躍のための事業を計画しております。建学の精神に堅く立ち、希望をもって「未来を担う女性」を育てる教育の実践にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関することは、学院総務課までお問合せください。TEL.095-822-4107 (代表) ☒150bokin@kwassui.ac.jp



Living Water

春夏号 通巻 117 号

発行日: 2023 年 6 月

発行元: 活水学院

編集: 学院広報誌編集委員会

〒850-8515 長崎市東山手町 1-50

TEL 095-822-4107 (代表)

<https://www.kwassui.ac.jp/>

活水女子大学 東山手キャンパス

〒850-8515 長崎市東山手町 1-50

TEL 095-822-4107

活水女子大学 大村キャンパス

〒856-0835 大村市久原 2 丁目 1246-3

TEL 0957-27-3005

活水高等学校・活水中学校 宝栄町キャンパス

〒852-8566 長崎市宝栄町 15-11

TEL 095-861-5176

※活水学院では、各種印刷物に使用する紙資材を FSC 認証紙に切り替えることで、環境負荷を低減させ、持続可能な森林資源の活用を積極的に進めております。本誌も FSC 認証紙を利用しております。



活水学院

©Kwassui Gakuin. All Rights Reserved.